

田橋・横山町フィールドプロジェクトの報告



島根県西部農林振興センター
鳥獣専門員 静野誠子

島根県浜田市



島根県 浜田漁港

どんちっち

日本海の荒波にもまれた浜田市の特選水産ブランド



のどぐろ



まあじ



かれい



浜田市の水産ブランド“どんちっち”

「どんちっち」とは、島根県浜田市で盛んな石見神楽（いわみかぐら）の囃子（はやし）を表現する幼児言葉で、それが転じて石見神楽そのものを意味するようになりました。

どんちっちホームページ http://www.city.hamada.shimane.jp/kurashi/susan/susan_don.html

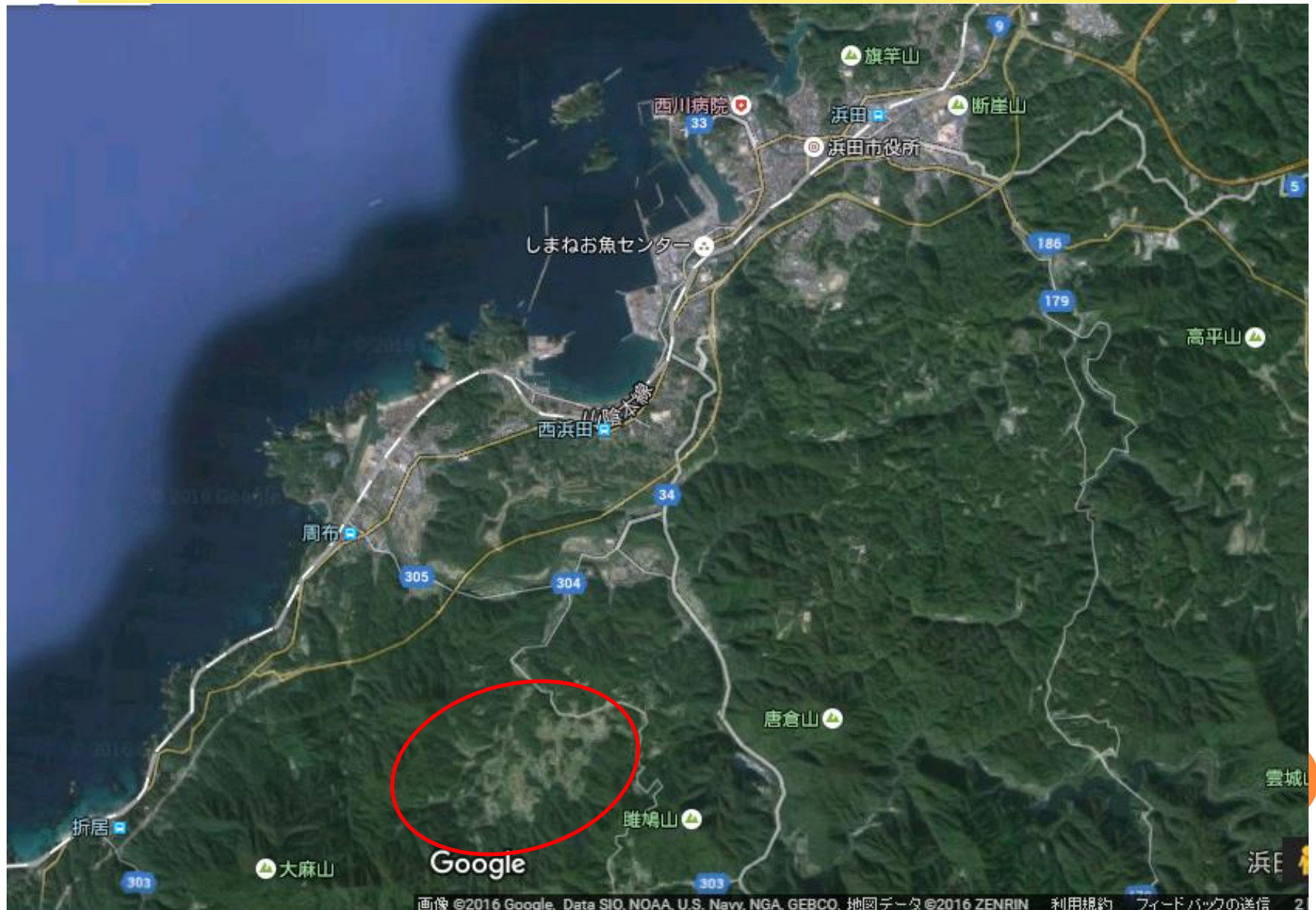
どんちっちトレサビリティサイト <http://www.dontiti-traceability.com/>

| | | |
|------------|-------------|------------|
| <p>かれい</p> | <p>のどぐろ</p> | <p>まあじ</p> |
|------------|-------------|------------|

鯿がカレーで華麗に泳ぐ♪



島根県浜田市 田橋町・横山町（美川西地区）



島根県浜田市
田橋町・横山町（美川西地区）







田橋町・横山町（美川西地区）について

- 自治会数・・・・・・6（田橋町3，横山町3）
- 人口・・・約300人（世帯数125）
- 高齢化率・・・・・・約49%（島根県32%、全国26%）
- 主要作物・・・・・・水稻、柿

イノシシ、クマの被害が多い



モデル地区での取り組み

- 聞き取り調査
- アンケート
- 広域防護柵設置、管理
- 集落点検
- 勉強会（イノシシ、クマ）
- モデル柿園
- 放置果樹の洗い出し、伐採
- 労働力不足対策

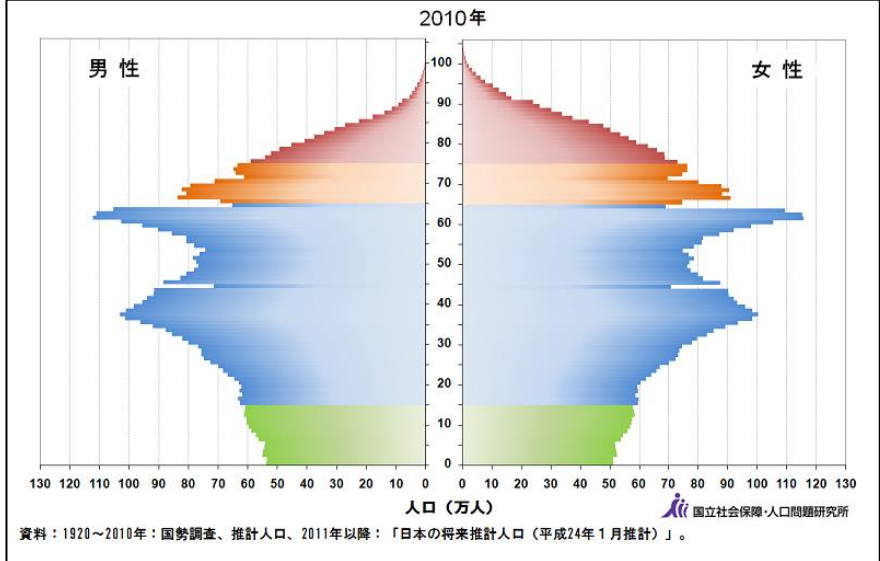
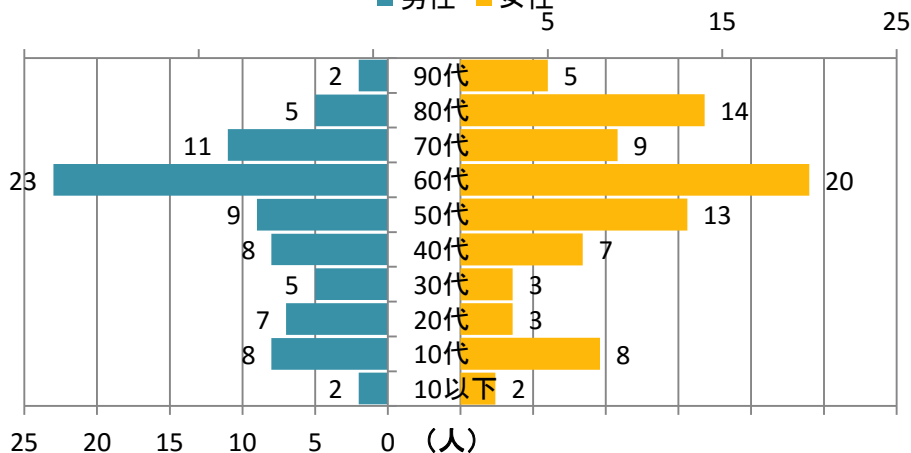


アンケート結果

回収率 84%

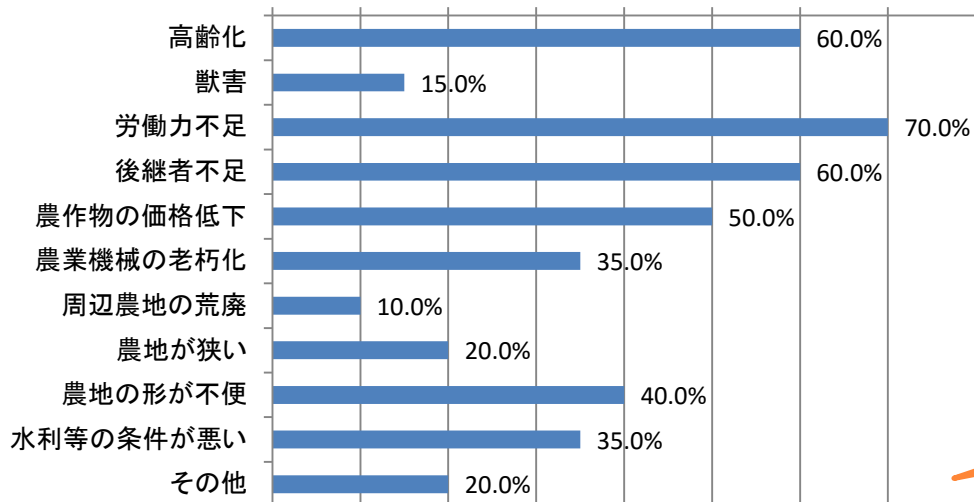
田橋町・横山町の人口

■ 男性 ■ 女性



耕作を減少したい、やめたい理由

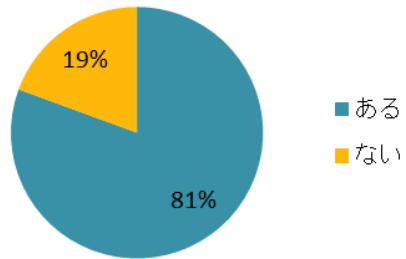
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%



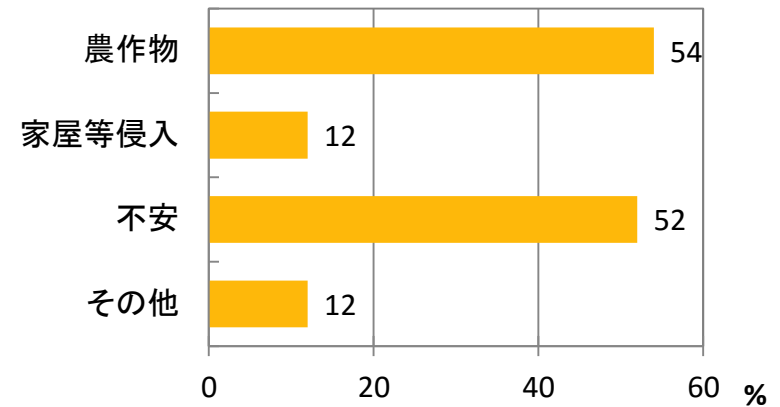
すべて該当する。日本の小規模農業では採算がとれない。後継者もおらず住む者はいなくなるだろう

アンケート（取組前）

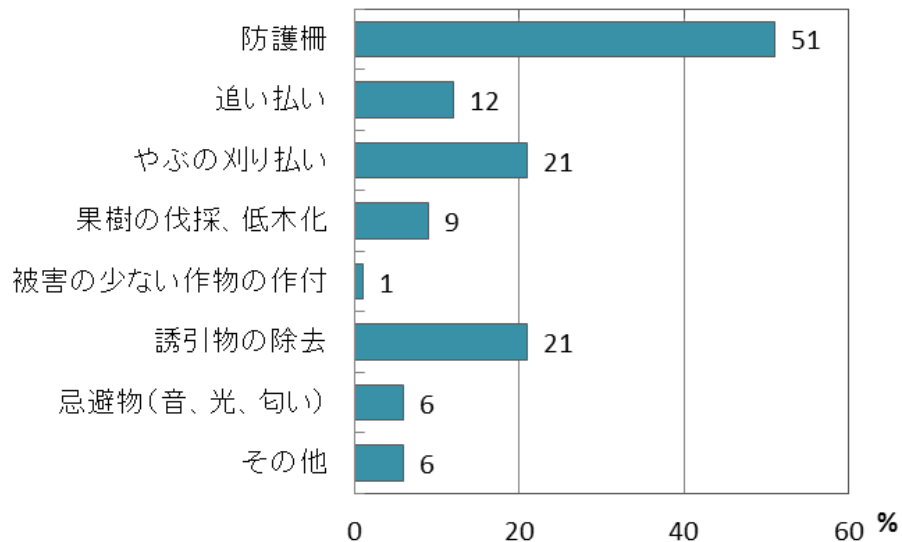
鳥獣被害の有無



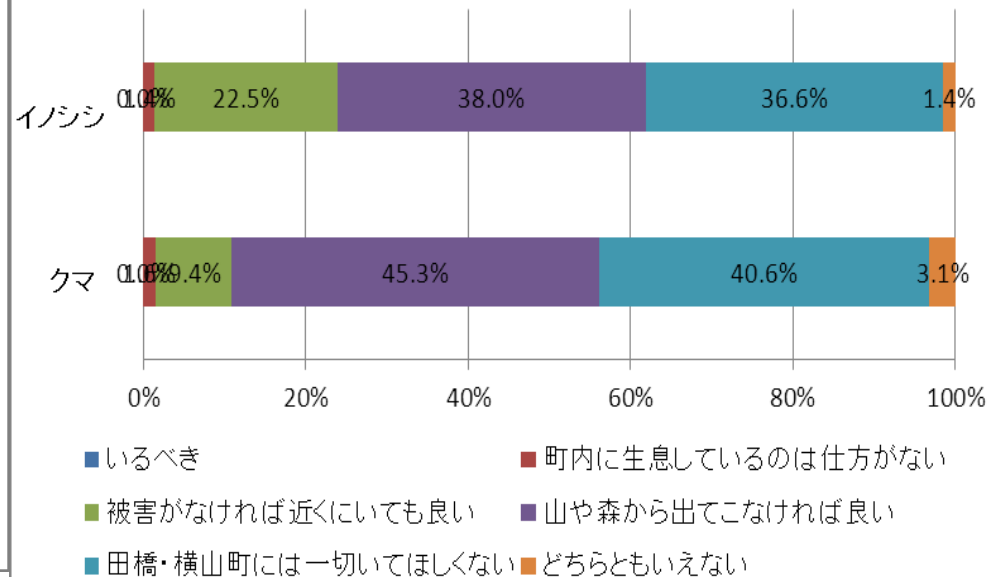
被害の種類



個人で実施した被害対策



イノシシ・クマの生息について



地域の声

荒廃した農地が少なく、不況にもかかわらず、皆頑張って米の生産に取り組んでいる！

人のつながりが強い

農業に関するイベントを楽しんでいる。春、夏、秋。

クマが出て、柿園での作業が怖い

集会があるが、夜外に出るのが不安・・・

人とクマとどっちが大事なのか

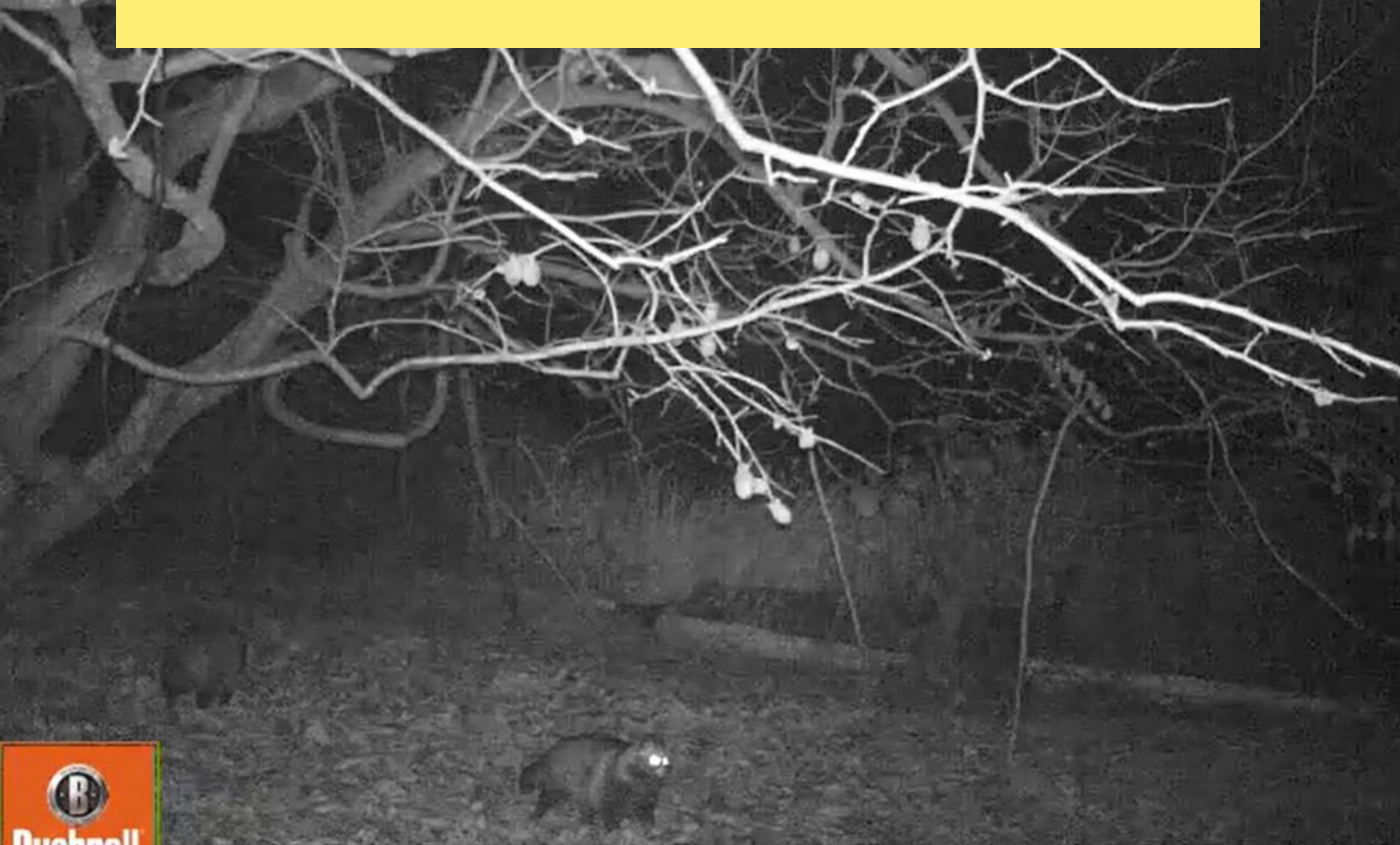
クマは法律で保護されているが、人間をクマから守る法律はない

モデル地区での取り組み

- 聞き取り調査
- アンケート
- 広域防護柵設置、管理
- 集落点検
- 研修会
- モデル柿園
- 放置果樹の洗い出し、伐採
- 労働力不足対策



カキに集まる動物たち



2014-12-25 20:28:36



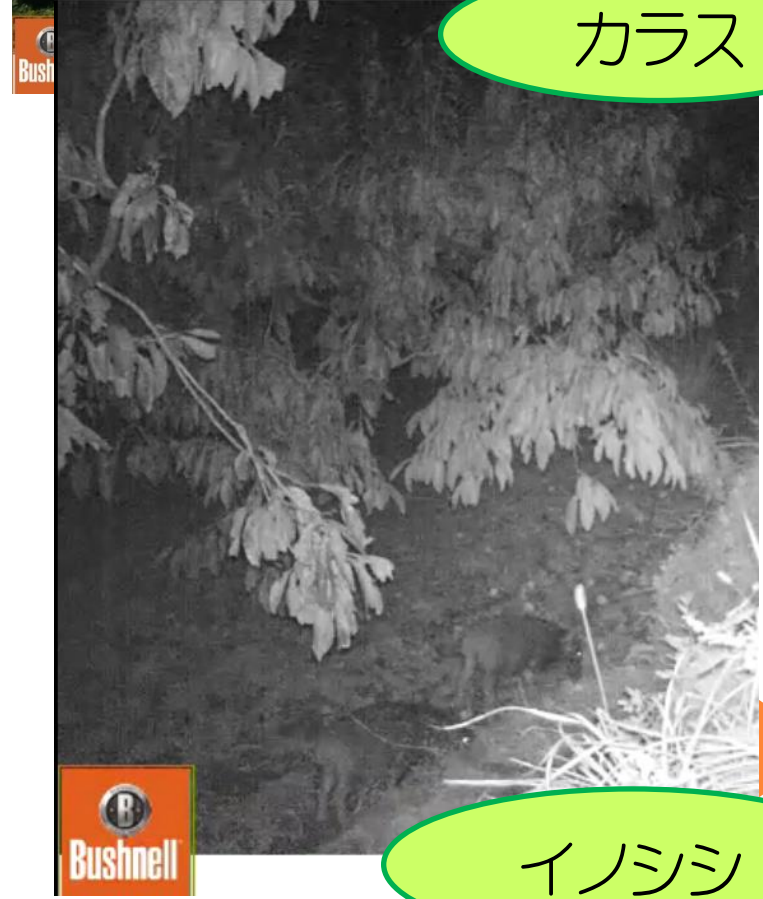
キツネ



カラス



クマ



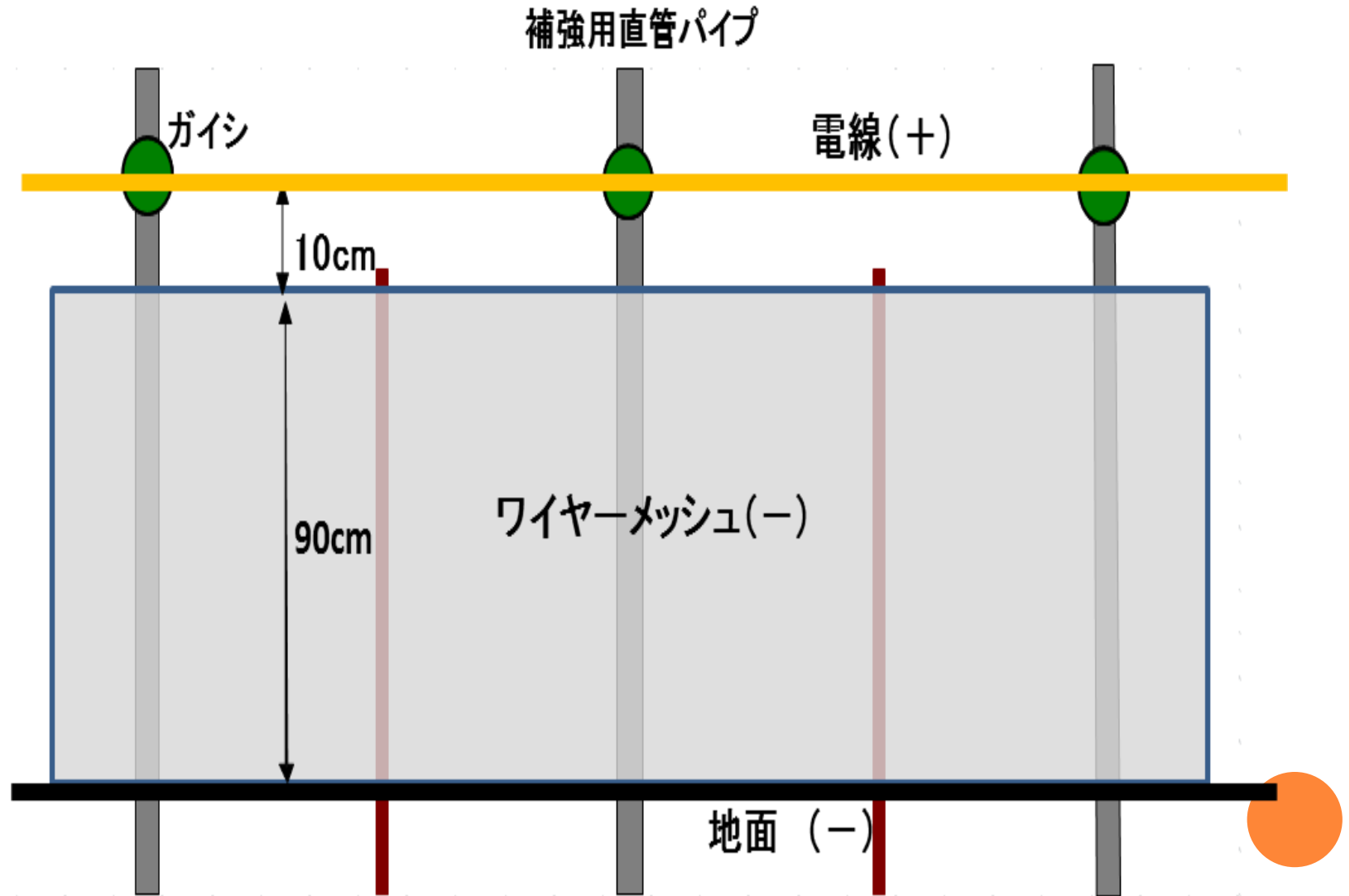
イノシシ

モデルカキ園

- 電気柵設置、効果検証
- 防護柵管理労力検証
(下草管理、漏電
チェック、補修など)
- センサーカメラ




既存の柵をクマ用に





シーズン前(8月末~9月頭)にしっかりと草刈り



電気柵を漏電させるつる植物

1年目

2年目

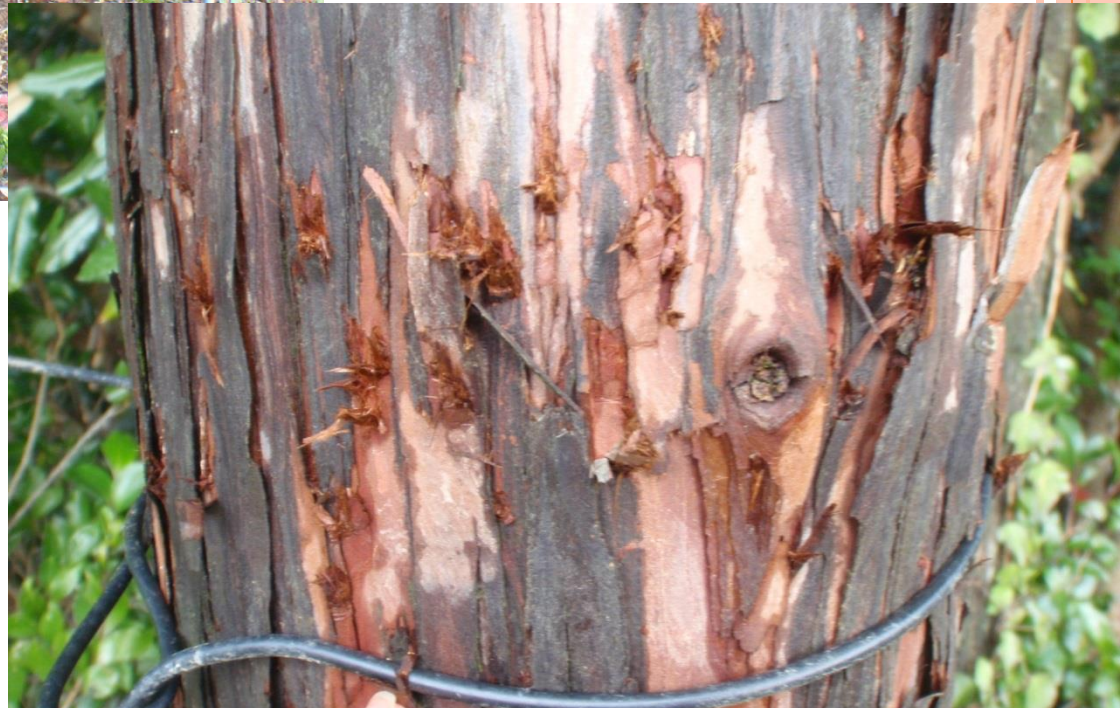


3年目

クマとの攻防











12/04/2013 02:48:54







それでも柿園に侵入…！



クマ用護柵設置時の注意点

- ワイヤーマッシュ柵の線の太さ・・・6mm
- 異形鉄筋の太さ・・・12mm以上
- 打ち込みの深さ・・・30～40cm以上
- 設置ルート・・・柵の両側1m以内の立ち木×

モデル地区での取り組み

- 聞き取り調査
- アンケート
- 広域防護柵設置、管理
- 集落点検
- 研修会
- モデル柿園
- 放置果樹の洗い出し、伐採
- 労働力不足対策



放置果樹の洗い出し





クマ・イノシシの餌場になって いる放置柿園





BEFORE

放置された柿園の柿の木を伐採！



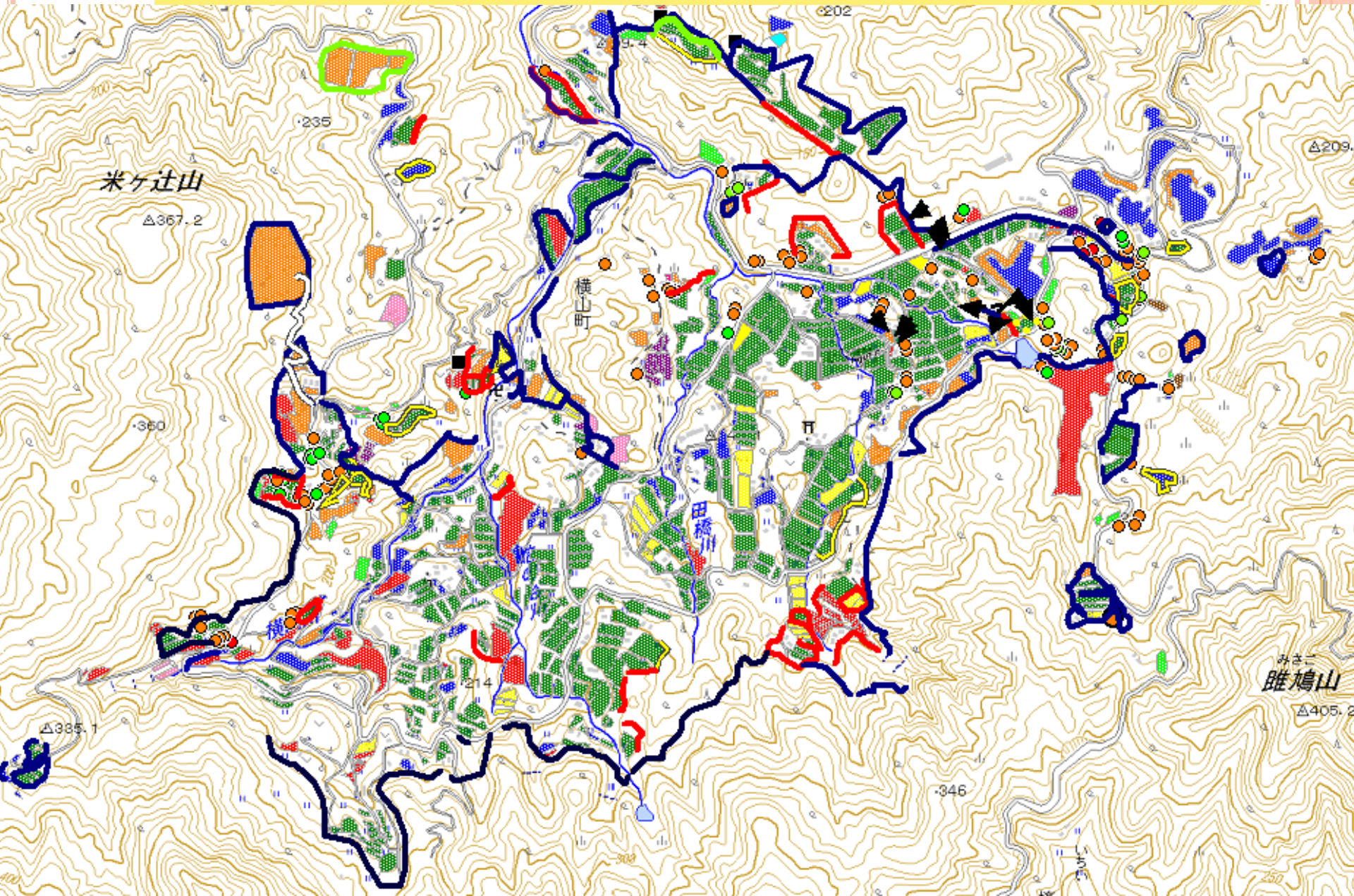
AFTER

モデル地区での取り組み

- 聞き取り調査
- アンケート
- 広域防護柵設置、管理
- 集落点検
- 研修会
- モデル柿園
- 放置果樹の洗い出し、伐採
- 労働力不足対策



広域防護柵



ワイヤーメッシュ設置研修



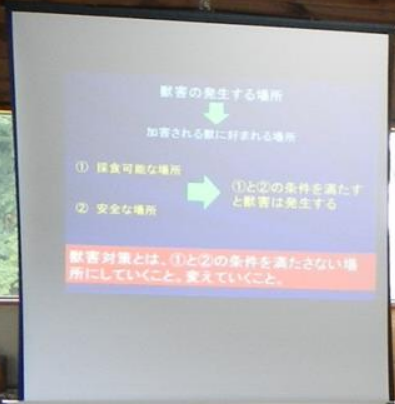




集落環境点検



研修会



火の用心

歩いて集落を点検





農地脇に捨てられたクズ野菜







(第3種郵便物認可)

浜田・田橋 県の鳥獣被害対策モデル地区

被害地図作り情報共有

住民ら防護柵など地区内点検

鳥獣被害が発生した場所などを地図で確認する住民ら

県の「鳥獣被害対策モデル地区」に選定されている浜田市田橋町で13日、クマやイノシシなどの野生動物による農作物被害の防止に向けた集落環境点検があった。住民と県の担当者ら、防護柵や被害の発生場所を記した地図を基に対策を話し合い、地区内を回って状況を確認した。

県は、2012年度から同市田橋町、横山町を鳥獣被害対策モデル地区に位置づけ、環境保護団体の世界自然保護基金(WWF)と共同で、野生動物の被害軽減対策などの研究に取り組んでいる。両町内では、14年度までに延べ約14キロにわたり防護柵を設置したほか、年1回、被害の発生場所や管理状況を確認し、対策を考える集落環境点検を実施している。

この日は、同市田橋町の田橋上地区の住民11人、県西部農林振興センターと市の担当者の計15人が参加した。

住民は、同センター林業振興課の静野誠子、鳥獣専門指導員から、ツキノワグマの特徴などを聞いた後、地区のマップに、新たな鳥獣被害発生場所や防護柵を設置した場所を書き込み、情報を共有した。柵に巻き付くかすらの除去など、管理についても意見を出し合った。

その後、地区内を見て回り、防護柵が倒れていないかなど管理状況を確認した。静野専門指導員は「たくさんあった獣道が少なくなっていて、対策の効果が出ている」とし、同地区の佐々木博さん(66)は「今後、防護柵の管理に加え、個体数を減らすことも考えないといけない」と話した。

モチベーションの維持

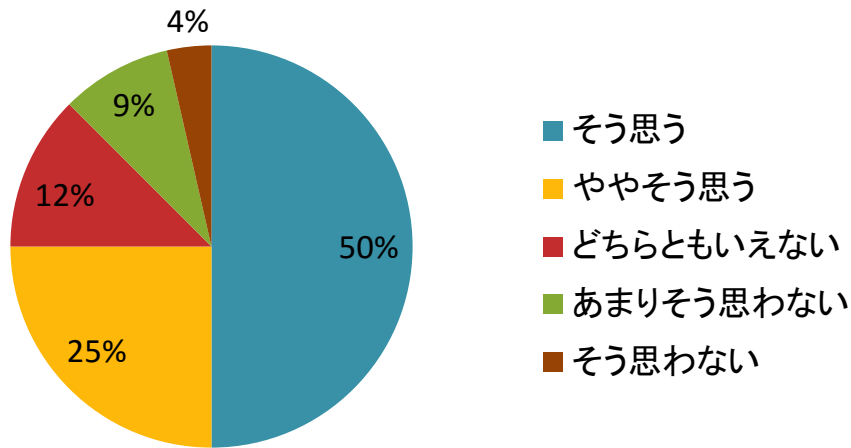
この日は「必勝」と書か



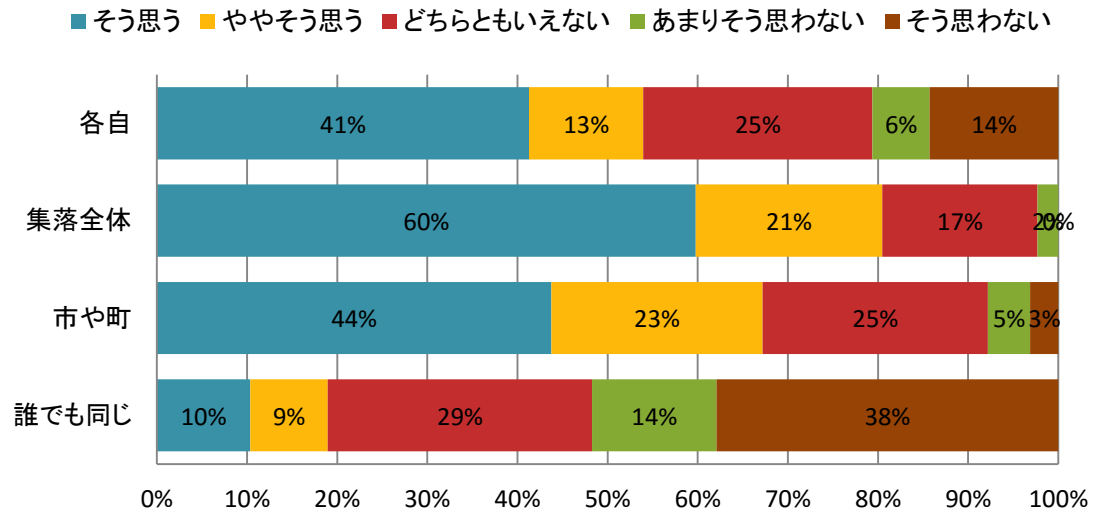
アンケート（取組後）

回収率 85%

集落点検はきっかけになったか



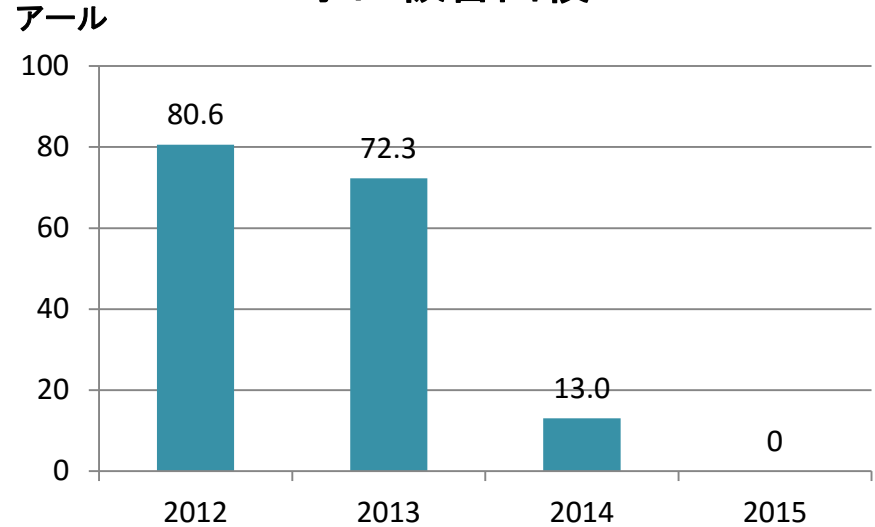
誰が中心となって獣害対策を行うか



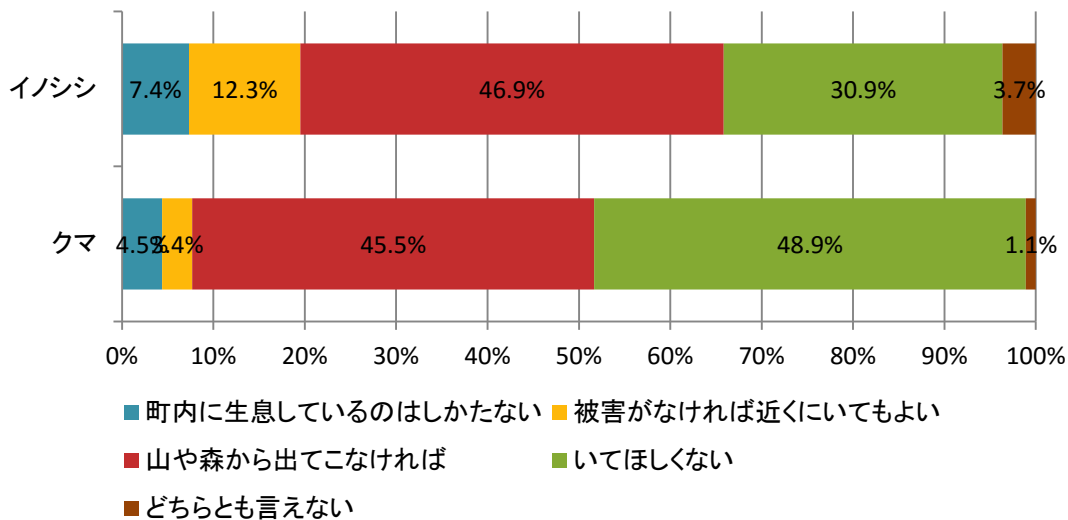
アンケート（取組後）

回収率 85%

水田被害面積



イノシシやクマの生息について



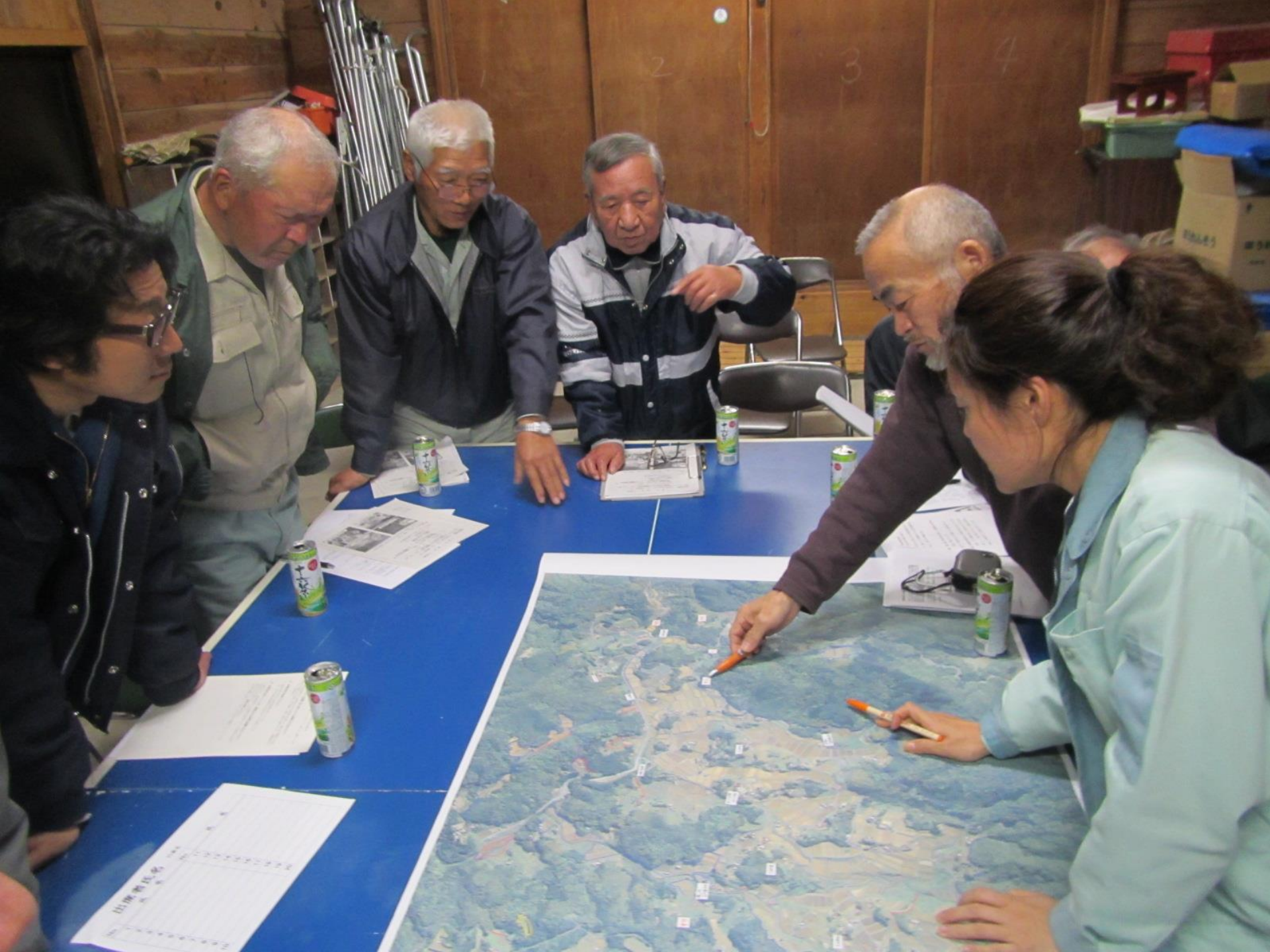
取組みの中で出てきた課題

- 新たな場所でのイノシシ被害
 - ・ 道路からの侵入
 - ・ クマによるワイヤーメッシュ柵の押し倒し
- イノシシ捕獲場所見直しの必要性
- 労働力不足
 - ・ 柵のまわりの草刈、維持管理、放置果樹の伐採など



美川西鳥獣対策専門部会結成!!

プロジェクト終了後の取組みの中心に!





イノシシオリの作成



完成！

鳥獣情報掲示板
完成！！



今後の活動体制

地域
住民

連携

美川西
鳥獣対策
専門部会

連携

市・県

イノシシ
捕獲

広域柵管理

研修会
集落点検

放置果樹の
伐採

☆おまけ☆

～プロジェクトの波及効果～



ご清聴ありがとうございました！